

火 災 予 防

2022年度全国統一防火標語

「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

ごみの焼却や野焼きの拡大による火災に注意！！

市内では、令和4年1月1日から3月末までに14件の火災が発生しています。

その内の11件については、屋外での焼却行為から延焼拡大し、火災となっていますので、今一度、火の取り扱いには細心の注意をお願いします。

屋外でのごみの焼却行為は禁止されています！

剪定木や雑草、家庭ごみ等は焼却せず、指定のごみステーションに出すなど、適正に処理してください。なお、どんど焼き等の地域の行事や害虫駆除のための畦畔焼きなどは、例外的に焼却が認められておりますが、その場合でも、むやみに行うのではなく、近隣の迷惑にならないよう配慮を行うとともに、次のことを厳守してください。

その場を離れない

焼却行為をする場合には、必ず監視を継続し、やむを得ずその場を離れる場合は、一旦消火する。

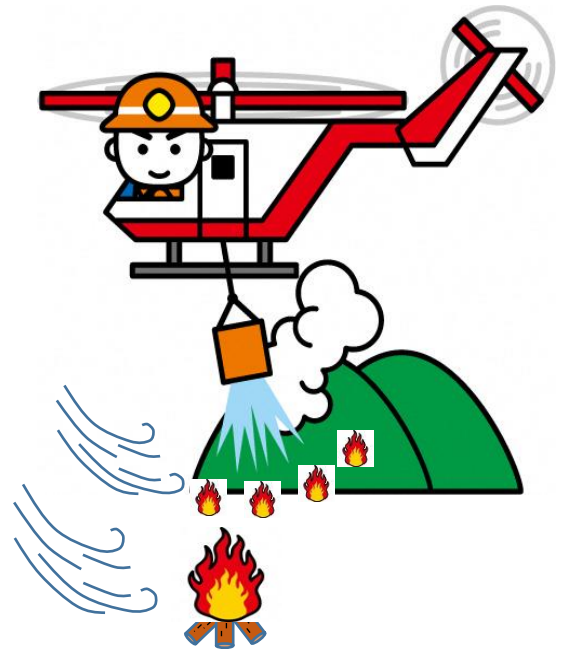
消火用の水バケツ等を準備する

燃え広がってしまったとき、または緊急で消火する必要がある場合に備えて、水バケツ等を用意して消火ができる準備をする。

天候により中止とする

強風、乾燥注意報や警報が発令されているときは中止する。

火の粉や灰は、風速2m程度の風でも遠くに飛ぶことがあり、風のない日でも天候が急変する場合がありますので、注意が必要です。



※ 火災事案によっては、被害を受けた方から行為者に対し、
損害賠償請求される場合も・・・考えられます。

ガストーチによるやけどや火災に注意しましょう。

これからの時季は、レジャーやイベントなども多くなり、火気の使用も見込まれます。未然防止対策をとることで、火災発生のリスクを減らし生命・身体・財産を守りましょう。

やけどに注意！

火炎放射中はもちろん、使用後数分間は火口付近が高温となっていますので誤って触れてしまう恐れがない場所で冷ましましょう。

使用目的・場面にあった製品を使用しましょう。

ガストーチは「屋外専用」や「調理専用」など使用目的が限定された製品があります。使用目的に合わない使い方をすると思わぬ事故が発生する恐れがありますので、取扱説明書をよく確認してから使いましょう。

また、屋外や明るい場所では、炎が見えづらくなったり、風が強い場合は、炎が思わぬ方向に放射されることがあるので注意してください。



正しく保管しましょう。

ガストーチとガスカートリッジを接続したまま保管すると、誤作動やガス漏れの危険があります。ガスカートリッジを取り外すことができない製品を除き、取り外して保管してください。ガスカートリッジには必ずキャップをしてください。

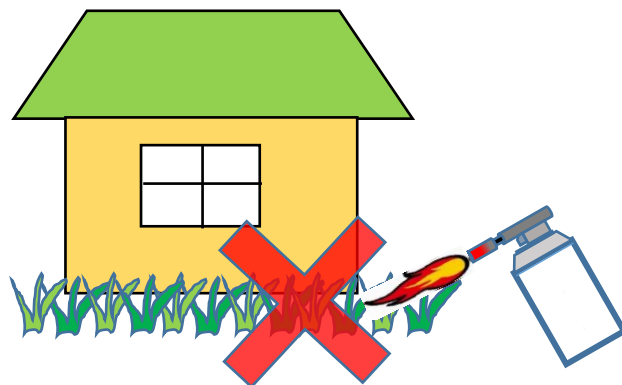
また、ガスカートリッジを備蓄品として保管する場合には、保管場所によっては容器が腐食することがありますので、適度に使用して入れ替えるようにお願いします。

消防署では、ガスカートリッジの処分はしませんので、製造元や販売店にご相談してください。

火災に注意！

ガストーチなどを使用し、家の周囲の雑草や枯草を焼却すると、気づかいうちに建物の外壁の下から火が入ってしまい、建物火災となった事例もあります。

雑草や枯草は、焼却処分するのではなく、ごみとして適切に処理しましょう。



火気器具は大変便利ですが、間違った使い方をすると重大な事故につながりますので、説明書などをよく確認して正しい使い方や管理をお願いします。

消防本部予防課 53-1905・1906